

◎1 第3回中学生デッサン講習会@未来の巨匠展のまとめ



芸術学系の生徒と中学生の皆さんと一緒にクロッキー。芸術学系2,3年生が横にいて、中学生にアドバイスをしています。



人物クロッキーのあとは、「不来方生によるギャラリートーク」です。作者自身が作品について語ります。

昨年度末12月20日〔日〕ギャラリーアイーナ「未来の巨匠展」会場にて実施されました「第3回中学生デッサン講習会」のまとめをします。

人物速写〔人物クロッキー〕は20名の中学生皆さんを5つのグループに分けて3回(3ポーズ)実施しました。

3ポーズは、立ちポーズ2回に、椅子に座ったポーズ1回です。立ちポーズは、体重のかけ方を変えたり、上半身をひねったりして変化をつけました。

芸術学系の生徒のアドバイスを拾い上げると

- 1 鉛筆の二通りの持ち方があるよ。芯先で描いたり、側面で描いたり。
- 2 画板の持ち方と角度。持ち上げて顔面の角度と画板が平行な感じでね。
- 3 紙いっぱい描こう。頭から足先まで入れようね。頭と足の位置に軽く「アタリ」をつけてもいいね。
- 4 人体の比例を意識しようね。はじめに薄く人体の部位を塊で薄く描いて、その上から強く描くこともあるよ。
- 5 体の構造と動きを見ようね。肩や腰の角度。体重のかかる足を観察するといいよ。
- 6 鉛筆の線の強弱を付けたり、時間があれば陰影による立体表現してみよう。
- 7 人体が空間に存在すること意識して、足の接地面や人体の存在をあらわす影も観察してみよう。